

導入までの流れ

1 お問い合わせ

- ・自治体様より弊社へ連絡

2 現地訪問と提案

- ・地域課題に応じた最適な提案を実施

3 実演会の実施

- ・自治体様・農業法人様向けに実機確認

4 予算確保

- ・導入に向けた予算確保

5 導入

- ・納品指導会の実施



導入背景

- ・放棄地の増加により、管理を要する敷地が増加
- ・高齢化により作業人員が不足

課題

- ・敷地管理における省力化、
省人化が早急に求められる
- ・どんな場所でも作業できる機械



導入の目的

- ・RCHR800を導入し、草刈り作業の効率化と省力化を実現

期待される効果

- ・作業時間の短縮
- ・安全かつ高効率な敷地管理
- ・場所を選ばず作業可能



導入実績

導入機種・台数

- ・RCHR800 : 1台

活用内容

- ・役場が所有し、町有地の草刈り専用として活用予定

主な作業予定地

- ・自転車競技場敷地
- ・町有地の放棄地
- ・駐車場、河川敷など



RCHR800の特徴

- ・場所を選ばない草刈り機

14馬力+HRナイフ方式で高い刈取り性能

- ・プロポ1つで簡単操作

- ・作業に必要な操作は手元で可能



RCHR800の特徴

- ・石飛や飛散が少ない
- ・安全性に配慮した設計
- ・傾斜角度35度まで対応
- ・斜面での草刈りを効率的に



5月：自治体様へ製品紹介

機械を持ち込みデモ実演作業

8月：導入に関する協議

10月：契約

12月：納品指導会

納品指導では、操作方法、保管方法、アフターケア等をご説明させていただきます。



まとめ

ラジコン草刈機の導入により 作業負担の軽減や時間短縮が実現しました。

また、スマート農機の導入を通じて若手農家や作業者の定着にもつながりました。

今回の事例では、
自治体様による導入の流れや活用方法をご紹介しました。

同様の課題をお持ちの際は、ぜひオーレックまでお気軽にご相談ください。
ご清聴ありがとうございました。

